



国家の再出発：焼け野原から新しい設計図へ

戦後改革と日本国憲法 | 高校入試対策ポイント解説

このプレゼンテーションは、戦後の日本がどのようにして今の姿になったのか、その「大きな物語」を掴むためのものです。一つ一つの出来事を、大きな流れの中で理解していきましょう。



1945年8月15日：焼け野原からの出発

- 1945年8月15日、日本は**第二次世界大戦**に敗れ、**連合国に降伏**。
- 国土は破壊され、深刻な物不足と混乱の中にあった。
- その後、日本は連合国の占領下に置かれる。占領政策の中心はアメリカだった。

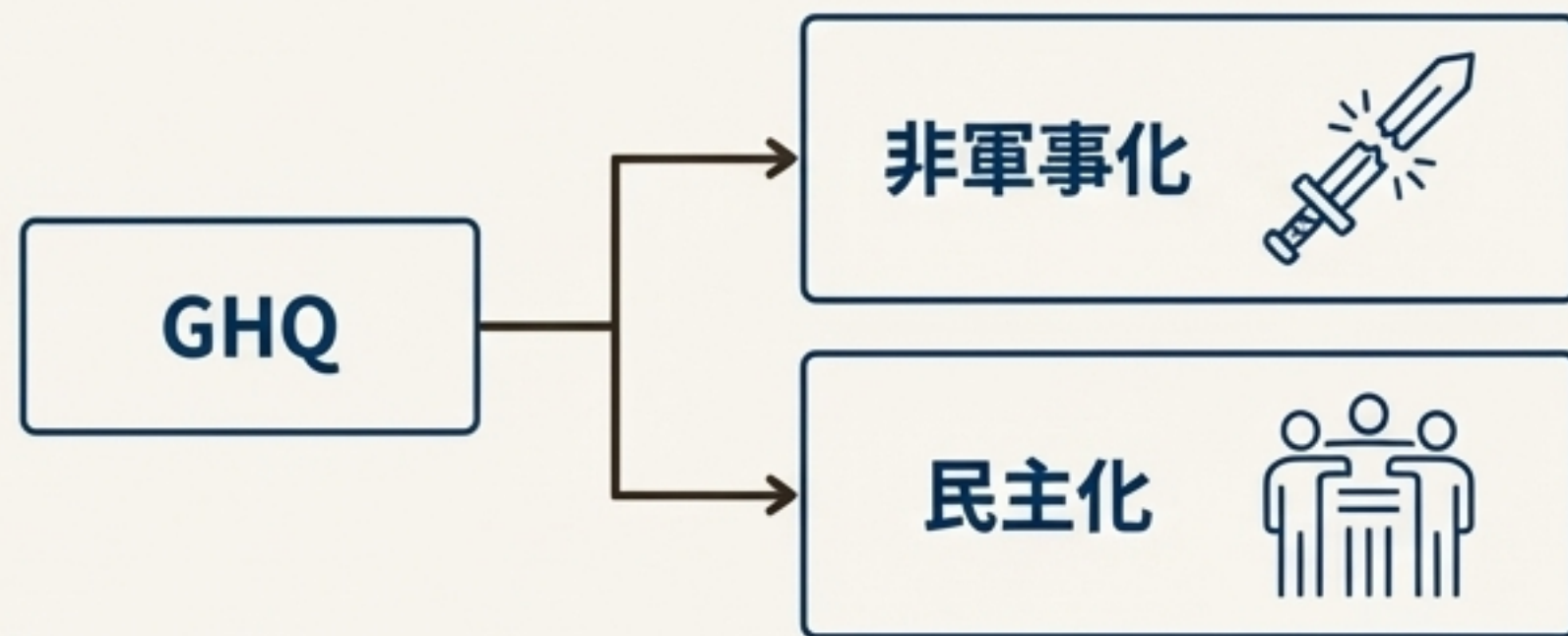
Producer Note:

まずは、戦後のスタート地点をしっかりイメージしてください。すべてが破壊され、ゼロから国を作り直さなければならない状況だったことを理解するのが重要です。



新日本の設計者：GHQ

- 日本の占領と改革を実際に進めたのは、**GHQ**（連合国軍総司令部）。
- 最高司令官は**マッカーサー**。
- GHQの目的は、日本が二度と戦争を起こさない国になること。そのための二大方針が「**非軍事化**」と「**民主化**」だった。



Producer Note: GHQの目的は「日本が二度と戦争をしない国になること」。この2つのキーワード（**非軍事化**・**民主化**）が、この後のすべての改革の基本方針になります。必ず覚えてください。

戦争への道のりの清算 【非軍事化】



東京裁判

戦争を指導した責任を問うため、
裁判が開かれた。



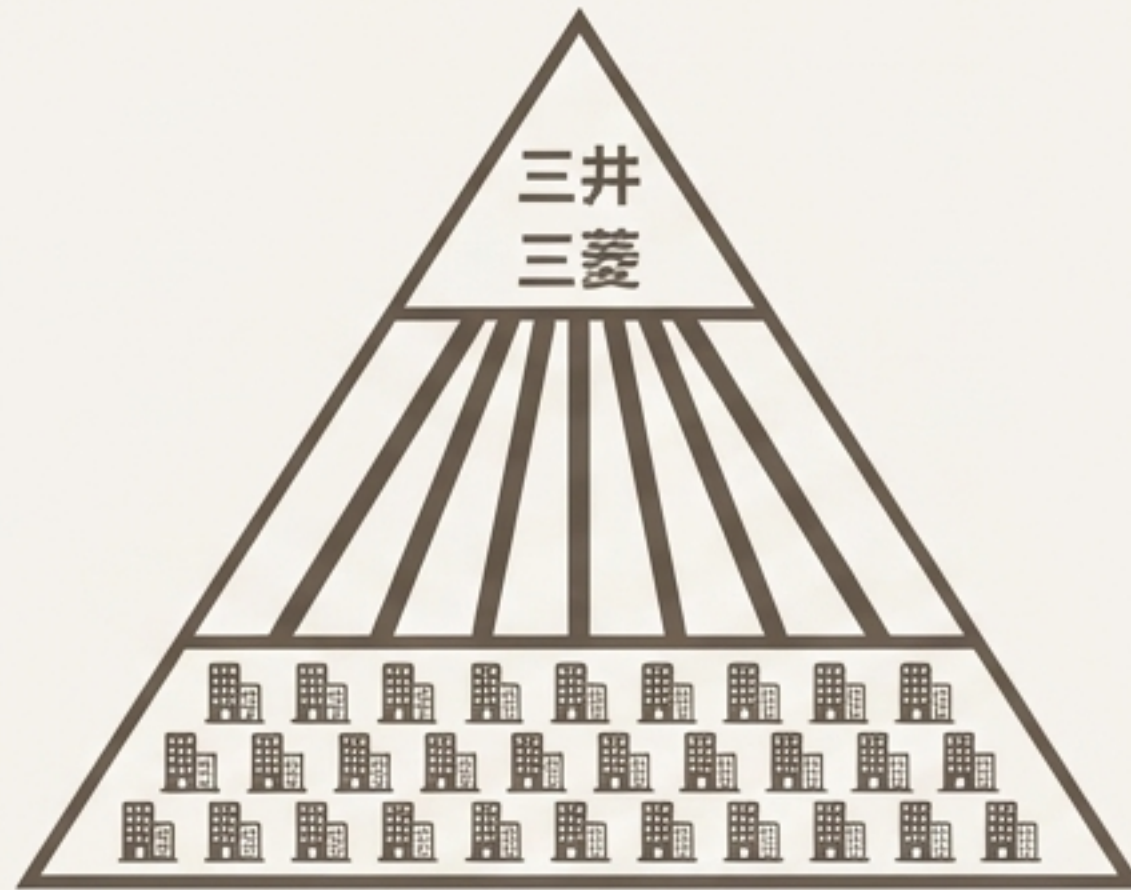
軍隊の解体

日本の軍事力を完全になくすため、軍隊
が解体された。これにより、日本は戦争
を行う力を失った。

Producer Note: 「非軍事化」の具体的な中身がこの2つです。戦争を指導した責任を
問い、戦争を行う力を物理的になくした、とシンプルに理解しましょう。

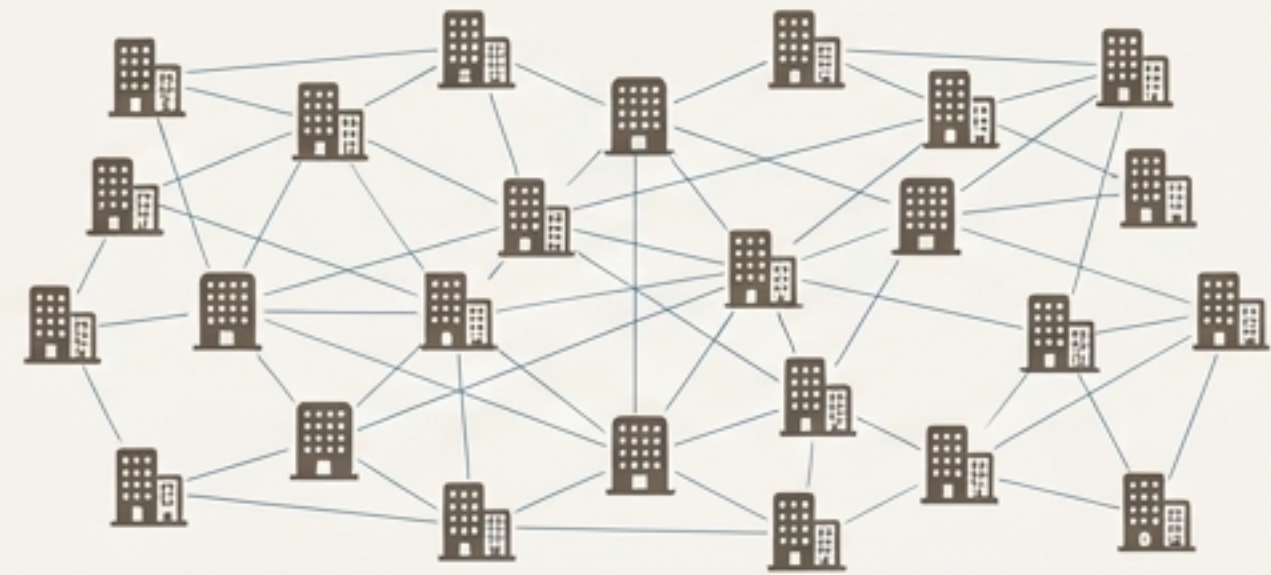
経済の民主化①：財閥解体

戦前 (Before)



課題 (Problem)：戦前、一部の巨大企業グループ（**財閥**）が経済を**独占**していた。

戦後 (After)



改革 (Solution)：**財閥解体**を実施。経済力の集中を防ぎ、より多くの人々が公平に参加できる経済を目指した。

Producer Note: 財閥解体は、一部の巨大企業がお金と力を持ちすぎることを防ぐための改革です。経済の世界を「民主的」にすることを目指しました。

経済の民主化②：農地改革

戦前 (Before)



課題 (Problem)：多くの**小作人**が、**地主**に高い小作料を払い、苦しい生活を送っていた。

戦後 (After)



改革 (Solution)： **農地改革**を実施。国が地主から土地を買い上げ、小作人に安く売り渡した。

結果 (Result)： 自分の土地を持つ**自作農**が大幅に増え、農村の民主化が進んだ。

Producer Note: 農地改革は、農村の民主化の要です。「地主の土地を、実際に耕している小作人に分け与えた」と覚えるのがポイント。これにより自作農が増えた、という結果とセットで記憶しましょう。

社会の民主化：労働者と女性の権利

労働組合法



団結権



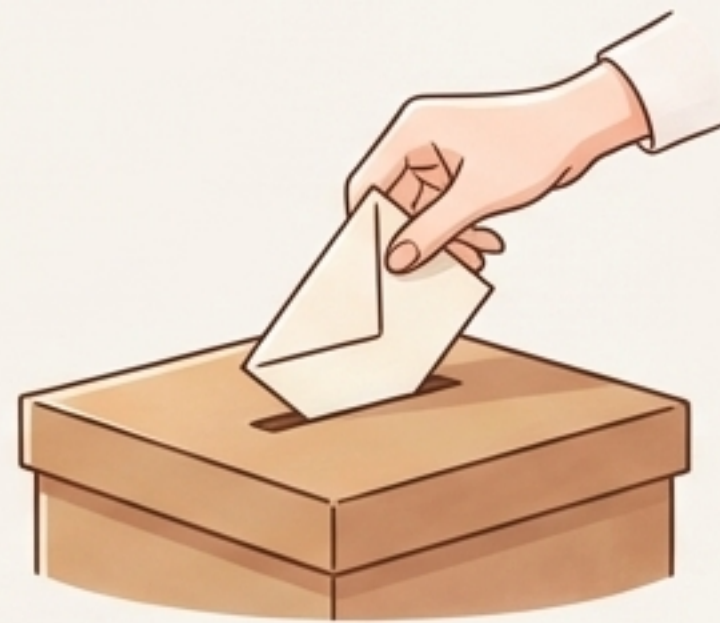
交渉権



団体行動権

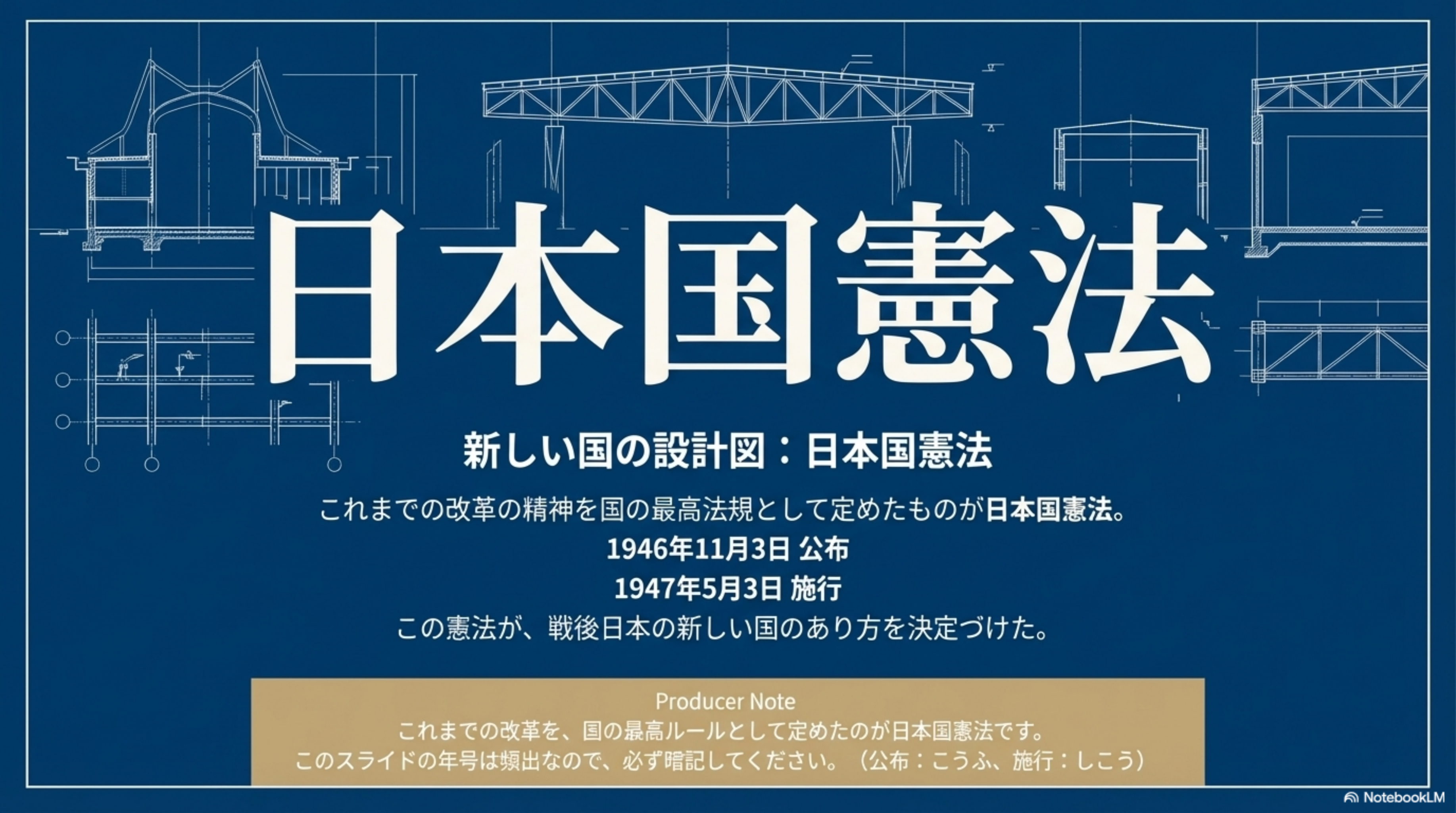
労働者の権利保護: **労働組合法**が制定され、労働者が団結して会社と交渉する権利（**労働三権**の一部）が認められた。

女性参政権



女性の権利拡大: 1946年の選挙で、**女性参政権**が初めて実現。女性が国政に参加する道が開かれた。

Producer Note: これらはすべて「国民一人ひとりの権利を尊重する」という民主化の流れの中にあります。
労働者と女性という、これまで立場の弱かった人々の権利が認められた、と理解してください。



日本国憲法

新しい国の設計図：日本国憲法

これまでの改革の精神を国の最高法規として定めたものが日本国憲法。

1946年11月3日 公布

1947年5月3日 施行

この憲法が、戦後日本の新しい国のあり方を決定づけた。

Producer Note

これまでの改革を、国の最高ルールとして定めたのが日本国憲法です。
このスライドの年号は頻出なので、必ず暗記してください。（公布：こうふ、施行：しこう）

日本国憲法の三大原則

日本国憲法には、国の根幹をなす3つの大きな原則がある。



国民主権

1. 国民主権



基本的人権の尊重

2. 基本的人権の尊重



平和主義

3. 平和主義

Producer Note: この3つは憲法の心臓部であり、入試では最も重要です。それぞれの意味を次のスライドで詳しく見ていきます。まずはこの3つの言葉を完璧に覚えましょう。

原則① 国民主権

国の政治のあり方を最終的に決める権利（主権）は、国民にある。

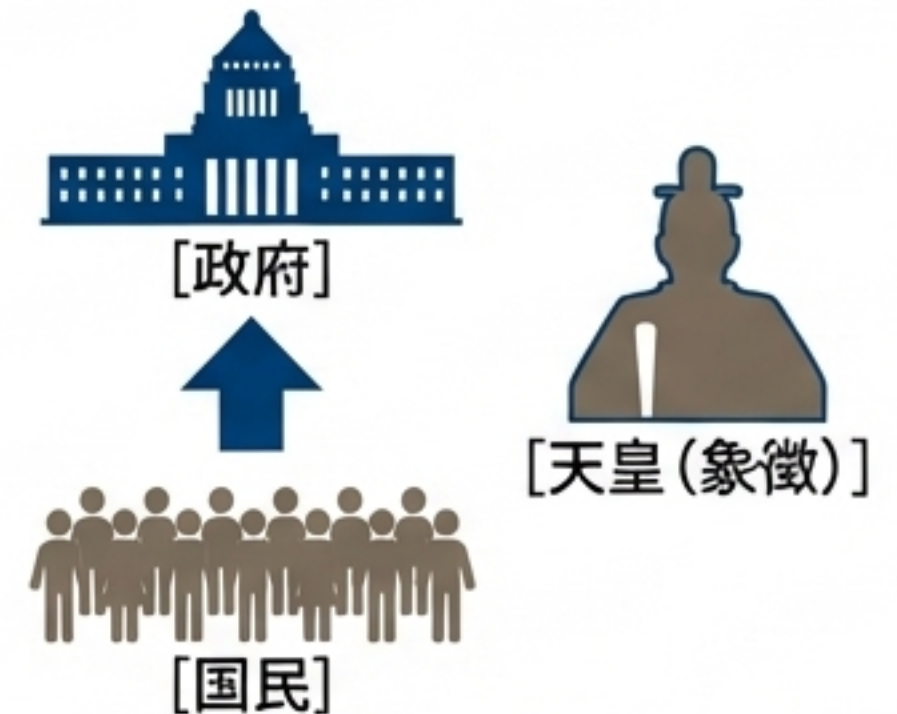
戦前の大日本帝国憲法では主権者は天皇だったが、これが根本的に変更された。

天皇は政治的な力を持たず、日本国と日本国民統合の「**象徴**」となる**象徴天皇制**が定められた。

戦前
(Before)



戦後
(After)



「国の主役は、国民である」ということです。天皇は政治的な力を持たない「象徴」になった、という変化をしっかりと押さえましょう。

原則② 基本的人権の尊重

すべての人が生まれながらに持つ、
奪うことのできない権利。

- **自由の保障：言論・思想・信教の自由**などが保障された。
- **平等の保障：すべての国民は法の下**の平等であり、**男女平等**も明記された。



Producer Note: 戦前の不平等や自由の制限への反省から生まれました。農地改革や女性参政権も、この基本的人権の考え方が元になっています。

原則③ 平和主義

日本国憲法の最も大きな特徴。

第9条で、国際平和を誠実に希求し、**戦争を永久に放棄**することを宣言。

陸海空軍、その他の**戦力は保持しない**
(戦力不保持)。

日本は平和国家として再出発することになった。

Producer Note: 日本国憲法の最も特徴的な部分です。「戦争を永久に放棄し、戦力は持たない」と定めた第9条は、必ず覚えておく必要があります。

占領の終わりと主権回復

日本の復興が進む中、占領を終わらせるための講和会議が開かれた。

- **1951年：サンフランシスコ平和条約**に調印。これにより、第二次世界大戦が正式に終結した。
- **1952年：条約が発効し、日本は主権を回復**。7年近くに及んだ連合国の占領が終わった。



Producer Note: この条約によって、日本はGHQの占領を終え、再び独立国となりました。年号とセットで覚えましょう。

新たな安全保障の形

- サンフランシスコ平和条約と同時に、**日米安全保障条約**が結ばれた。
- これは、憲法第9条で戦力を持たない日本が、国の安全をアメリカ軍に依存する体制を定めたもの。

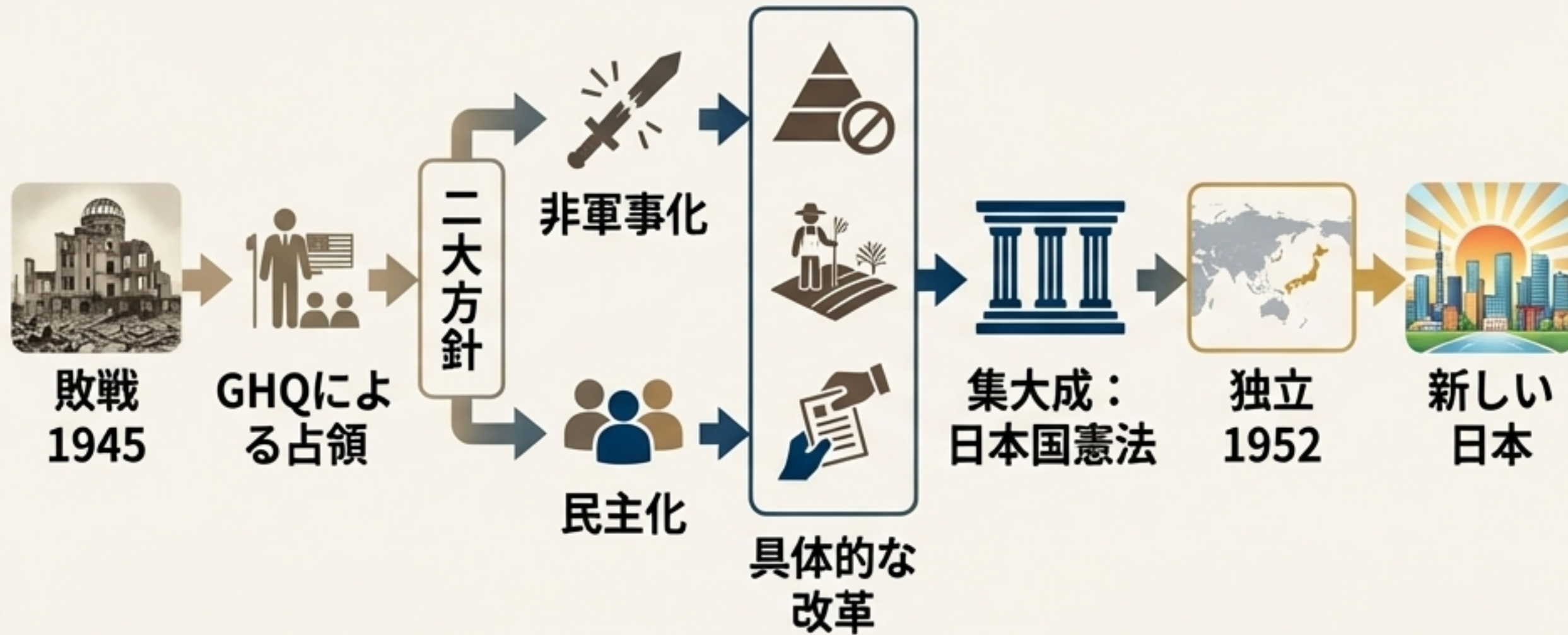


アメリカ軍が日本国内に駐留することが認められた。

日本の安全をアメリカ軍が守る

Producer Note: 自分で軍隊を持たないことを決めた日本が、どのように国の安全を守るのか。その答えが、アメリカとの同盟でした。平和条約と安保条約はセットで結ばれた、と理解するのが重要です。

まとめ：戦後改革から新しい日本へ



Final Review Keywords

- GHQ
- 非軍事化、民主化
- 財閥解体、農地改革
- 日本国憲法
- 国民主権
- 基本的人権の尊重
- 平和主義（第9条）
- サンフランシスコ平和条約
- 日米安全保障条約

Producer Note: ここまで見てきた大きな流れを、この一枚で復習しましょう。各改革が「なぜ」「何のために」行われたのかを意識すれば、知識が繋がり、忘れにくくなります。入試、頑張ってください！